

事業評価シート（平成25年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	バリアフリー促進事業(平成25年度事業名:交通バリアフリー促進事業)		
事業担当	まちづくり政策部 交通政策課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	'02	②〈まちの顔〉 活気ある魅力的な中心市街地をつくる	
	'02	2 人々が憩えるゆとりとうるおいのある都市空間を創造する	
根拠法令等	バリアフリー新法		
対象・受益者	市民	事業期間	平成17年度 ~
委託・協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働: 】		
	目的・目標		事業の概要
	誰もが移動の安全性と快適性を享受し、ユニバーサルデザインの施設を利用でき、みんなで支えあう社会が形成されています。		誰もが移動の安全と快適性を享受し、ユニバーサルデザインの施設を利用でき、みんなで支えあう社会を形成するために、バリアフリー基本構想に基づき整備を行う各事業者と共にバリアフリーの推進を図ります。

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	平塚市交通バリアフリー特定事業等推進協議会の開催回数(平成25年度まで)			単位	回
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	実績	1	1	1		
活動指標②	指標名	平塚市バリアフリー推進協議会の開催回数(平成26年度から)			単位	回
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	実績				1	
成果指標①	指標名	特定事業達成度(平成25年度まで)			単位	%
	説明・算定式	平塚市バリアフリー基本構想の見直し				
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	実績	15	50	100		
成果指標②	指標名	特定事業達成度(平成26年度から)			単位	%
	説明・算定式	平成32年度を100%とした達成率(各事業者が計画する特定事業の達成率を評価)				
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	実績				14	
進捗状況	①: 予定どおり					
	遅れている理由					
平成25年度の主な取組と成果						
<p>国の新たな基本方針が平成22年度末に示されたことから、平成24年度から引き続き平塚市バリアフリー基本構想検討協議会等の検討組織を通じて、特定事業の見直しや追加等の基本構想策定作業にあたり、パブリックコメント手続での意見を反映し平塚市バリアフリー基本構想を策定しました。</p>						
平成25年度の検証結果	A: 成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	駅構内や駅を中心とした周辺道路等に対してバリアフリーを望む声は多く、各事業者が連携し重点的かつ一体的に推進するよう調整をする必要があります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	各事業者と調整したうえで整備を進める事で、バリアフリー基本構想の具現化につながる有効な事業です。また、市民の視線に立った移動等円滑化施策のため有効性があります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	交通事業者、道路管理者及び公安委員会のそれぞれの事業の協議・調整を行い、バリアフリー基本構想の進行管理を行うことは、基本構想の効率的な推進につながるため妥当性があります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	市民や関係する事業者等の意見や提案により、本市が策定したバリアフリー基本構想を各事業者間と調整し効率よく進めています。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 平塚市バリアフリー基本構想に即して、各事業者は事業計画を作成することになりますが、各事業者間においては十分に協議・調整を行う必要があります。また、各事業者の連携強化と事業の円滑な推進を図るため推進体制を整備する必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 予算額
事業内容		推進協議会の開催、平塚市交通バリアフリー基本構想の見直しの検討	推進協議会の開催、平塚市交通バリアフリー基本構想の見直し	推進協議会の開催、平塚市交通バリアフリー基本構想の見直し	推進協議会の開催
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	67	0
事業費 (A)		0	0	67	0
執行率 (%)		—	—	79.76	
内訳	職員 (人)	0.32	0.70	0.80	0.80
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		2,594	5,611	6,359	6,251
フルコスト (A+B)		2,594	5,611	6,426	6,251

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成27年度の取組方針 平塚市バリアフリー基本構想に基づく各事業の円滑な推進のため、平塚市バリアフリー推進協議会を開催し、段階的かつ継続的にバリアフリー化していくよう進捗管理をし、また事業の進捗状況等を市民に公表していきます。
課長コメント バリアフリー新法により見直しを行った平塚市バリアフリー基本構想に基づき、交通事業者、施設設置管理者、公安委員会等、関係管理団体との協議・調整を行い、バリアフリー化を推進していく必要があると考えます。